



福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和 55 年に設立した在宅サービス提供機関です。  
誌名「羅針盤」はご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。

4 月に芽吹いた新芽が、瞬く間に若葉となりました。

濃淡さまざまな緑葉が風にそよいでいます。  
精彩したたる青葉を渡る風を薫風と表した  
のは中国の詩人。

この時季に繁茂した草木を揺り動かし、  
こいのぼりを悠然と泳がす強風は青嵐です。  
生命の輝く季節、皆様には、どうぞ、  
御身お大切にお過ごし下さい。



### <紙面から>

常務理事 就任ご挨拶	・・・1ページ
常務理事 退任ご挨拶	
デイサービス映画を愉しむ会	・・・2ページ
事業報告会 その3	
タイ王国からの視察 お花見ツアー	・・・3ページ
お知らせ リレーコラム	・・・4ページ

## 就任のご挨拶

### 創業理念

## ～「住み慣れた所でいつまでも」を目指して～



常務理事 事務局長  
小島一隆

吹き抜ける風が心地よく感じる五月となりました。

今年は、いつもより時が早く駆けていき、うつりゆく春を  
惜しむ間もなく初夏の兆しがのぞきはじめています。

皆様には、お健やかに過ごしのことと、お慶び申し上げます。

4 月 1 日付で事務局長として着任し、同 26 日の理事会において常務理事に選任されました。  
弊公社が事業を開始してから、40 年近くの月日が流れました。

今後、わが国では、出生数の減少、高齢者の増加、そして社会の担い手である勤労世代が  
減少するという課題を抱えていると言われています。

武蔵野市でも、2025 年に向けて高齢者、特に 75 歳以上の人口が増加すると推計されており、  
それに伴い要介護者数も増加すると見込まれています。

弊公社では、権利擁護事業や成年後見事業等の充実を図り、時代に即したサービスを提供する  
とともに、市内の人材確保・育成を図るために「地域包括ケア推進人材育成センター（仮称）」  
を開設することを目指しています。

今後も、「住み慣れたところで一生を」という公社設立の理念のもと、皆様お一人おひとりが  
住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、微力ながら最善を尽くす所存でございますので、  
ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 退任のご挨拶

爽やかな風が、新緑の木々を揺らす季節となりました。

皆様には、お健やかに過ごしのことと、お慶び申し上げます。

昨年4月に福祉公社の常務理事に就任し、市民の皆様のお近くで仕事ができることの幸せを実感しながら職務に当たってまいりましたところ、このたび4月1日付の人事異動で市役所に戻り、健康福祉部長として、新たな職責を担うこととなりました。

常務理事在任期間はわずか1年だけでしたが、福祉公社での毎日は充実し、やりがいと喜びを感じられる素晴らしい日々でした。

ご利用者とホームヘルプセンターの職員との電話のやり取りからは、皆様の暮らしのありのままの様子を垣間見ることができました。デイサービスセンターでは、にこやかにプログラムに取り組まれる姿に心温まる想いでした。

健康福祉部は、地域支援課、生活福祉課、高齢者支援課、障害者福祉課、健康課の5課で構成され、市民の皆様の生涯にわたる健康づくりをはじめ、様々な支援や取り組みを推進しております。

平成30年度からの6年間を計画期間とする武蔵野市第3期健康福祉総合計画は、総合目標として「誰もがいきいきと安心して住み続けられる支え合いのまち」を掲げています。これは、「住み慣れたところで一生を」という福祉公社の設立理念に通じるものです。

福祉公社での経験を活かし、「まちぐるみの支え合い」をさらに推進すべく最善を尽くす決意です。在任中のご厚誼に心から感謝申し上げます。

引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



森安 東光

### 高齢者総合センター デイサービスセンター 映画を愉しむ会



デイサービスセンターでは、ご利用者の生活リハビリの一環として、書道、音楽、絵手紙、笑いヨガ等々の多彩なプログラムを実施しています。ご利用者は思い思いのプログラムを選択し、一日を楽しく過ごしています。

3月16日に開催された人気企画「映画を愉しむ会」もその一つです。講師はNPO法人古き良き文化を継承する会理事長の根本隆一郎氏です。

根本氏はこの企画を、映画と言う大衆文化に基づく「文化療法回想法」と位置付けています。

同氏が往年の名作映画を題材に、上映当時の社会状況や制作秘話などを語り、ご利用者はその時々のご自身のエピソードを思い出し、明るく楽しげに発表し合い、往時の自分、懐かしい思い出を回想します。これは現在の自分自身を勇気づけることでもあります。根本氏の映画や関連する該博な知識、軽妙な語り口、柔和な笑顔がご利用者の回想の呼び水となっています。

ご利用者は一様にプログラムを満喫し、「毎回欠かさず参加している。楽しみにしている」「青春時代を思い出す。鑑賞するためだけではなく、映画に何かを求めていた。映画を年に300本は観ていた。映画館に入場するときのワクワク感がよみがえる」などのご感想を述べています。

これからも工夫を凝らしたプログラムを実施し、ご利用者の皆様に、より良いサービスを提供してまいります。





最期は在宅で～大好きな家族と紫陽花に見送られて～

現在、日本では、高齢者が人生の終焉を迎える場所は在宅で1割強、その他の約8割は病院や施設です。しかし調査によれば、7割超の人が、「住み慣れた家で、自分の布団で人生の最期を迎えたい」と望んでいます。そこで、家での看取りを望んでいるご本人とご家族の希望を叶えるために、ケアマネジャーがどのように支援したかを報告しました。

在宅での看取りに必要な条件は、ご本人の希望、（可能な場合は）ご家族の支え、療養環境の整備、信頼に足る訪問診療医・看護師等医療職と看取りチームを取り纏めるケアマネジャーの存在です。

報告事例のご利用者にはすべてが整っていましたので、徒に、病院で病室の壁を見て最期を迎えることは、保有する社会資源を無駄にすることでした。

ただ、事例では「退院＝点滴中止＝看取り」と言う厳しい現実がありました。それをご本人・ご家族が理解し、合意・承認しなければなりません。その点をケアマネジャーとして、看取りケアの中心である医療職と連携を取りながら、注意深く確認しました。そしてご本人は望み通り、住み慣れた自宅に戻り、家族に見守られながら、静かに人生を終えました。

今後も、ケアマネジャー一人ひとりが、日々取り組んでいる事案の経験と情報をミーティング等で共有しながら、切磋琢磨し、支援力の向上に努めます。

社会活動センター  
タイ王国からの視察

3月16日にタイ王国保健省大臣官房保健人材開発部職員と同国の公衆衛生大学教員の総勢21名が、日本の高齢者及び介護施策等の研修のため武蔵野市へ視察にいらっしゃいました。

高齢化の進行するタイでは、来る「高齢社会」に備えて、介護に係る制度の構築や高齢者の健康維持増進について検討を重ねています。

今回の訪問では、健康長寿と社会参加を促進するために、社会活動センターが行っている講座の実際を視察されました。

当日は初心者バイオリン講座とコーラス講座が開催され、折しもバイオリン講座では活気溢れる卒業演奏会を視察することとなりました。視察の皆様は熱心に質問され、「本日は大変参考になりました。素晴らしい内容で感心しております。タイでも高齢者総合センターを参考に、高齢者の方が素敵な笑顔でいられる施設を造りたいと思います」と感想を述べられました。

国際的にも評価されたことを励みに、これからも高齢市民の健康増進に寄与できるよう努めます。



記念撮影  
高齢者総合センター前にて

春の訪れ ☆ デイサービスお花見ツアー  
高齢者総合センター・北町高齢者センター

4月4日から6日まで恒例のお花見ツアーを開催しました。ツアーの目玉は満開の桜と「さくらごはん」での甘味喫茶。

今年は開花が早く「葉桜見物じゃない」との声も。しかし、遅咲きのソメイヨシノや八重桜、シャクナゲや、モクレンなど思いのほか華麗な花々を目にして、車窓から見える春の訪れに、皆さまはウキウキと心躍らせていらっしゃいました。

さくらごはんでは、ゆったりとお茶とお菓子を賞味し、憩い、会話も弾んで、笑顔が溢れていました。「甘いものは別腹ね♪」心もお腹も満たされました。



なごやかなひと時



## 公社からのお知らせ

### 老いじたく講座

～ 老いじたくの基礎知識 ～



誰にでも訪れる老いに備え、元気なうちから準備して、尊厳ある老後生活を築きましょう。

日時 5月30日(水) 18時から19時30分

場所 福祉公社 1階会議室

### ～ エンディングノート 書き方講座 ～

想いを記すことは残された人たちへの指針



日時 6月15日(金) 13時30分から15時

場所 市民会館 第2学習室

問合せ 在宅サービス課 権利擁護センター

申込 ☎ 23-1165 参加費用は無料です。

### 地域交流会 手打ちうどんの会

こころとおなか が 温まる世代間交流

～ 楽しくうどんを打って

美味しく食べましょう ～

日時: 6月9日(土) 10時30分から13時

場所: 高齢者総合センター2階

デイサービスセンター

参加費: 1組300円

定員: 親子5組(申込順)

持ち物: エプロン、三角巾、上履き

申込締切: 6月8日(金)

申込・問合せ デイサービスセンター

☎ 51-2933 担当 富田

## 職員リレーコラム 第48回 《季節の移ろい》

管理・社会活動センター 中村八千代

我が家の前には桜並木があり、毎年桜の時期は壮観です。

今年は気温の急激な変化で、楽しめる期間が短く少し残念でしたが、例年通りのお花見を楽しみ、新たな年度のスタートをきる事が出来ました。

今はその桜も緑の葉でおおわれ、もうすぐ訪れる夏の暑い日差しを遮ってくれることと思います。

武蔵野市は緑豊かで、季節をより感じられる環境です。

忙しい日々の中でも、季節の移ろいを感じる余裕をもち、楽しみ、過ごしたいと思っています。

⇒ 次回は 権利擁護センター 山保 龍太



編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社

次号は平成30年6月8日発行予定です



### 武蔵野市福祉公社・ホームヘルプセンター武蔵野

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車

☎0422-23-1165 (総務課、在宅サービス課)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

### 武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1 バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護・地域包括支援センター

・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

### 武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

☎0422-54-5300 バス停「北町四丁目」から徒歩三分

業務時間 8:30~17:15 (全て共通)

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikosha.jp/>